

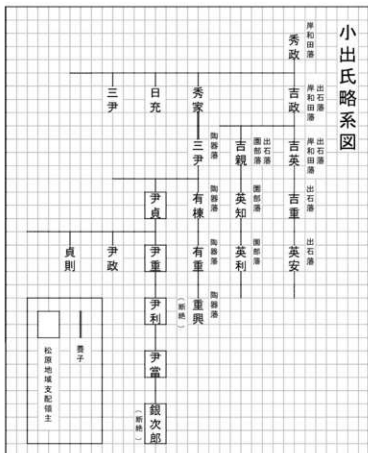
書名	平成29年度企画展 松原地域の旗本領村落
書名かな	へいせい29ねんどきかくてん まつばらちいきのはたもとりようそんらく
編著者名	西田 敬之（にしだ たかし）
編集機関	一般財団法人 松原市文化情報振興事業団
発行機関	一般財団法人 松原市文化情報振興事業団
発行年月日	2017年6月10日
郵便番号	580-0016
電話番号	072-336-6800
住所	大阪府松原市上田7-11-19
備考	松原市民ふるさとびあプラザ郷土資料館で実施した企画展リーフレットで、展示期間は平成29年(2017)6月10日～7月23日。

PDF ファイル制作日：2023 年 3 月 7 日



## ◎小出氏とその所領

小出氏が松原地域の村落を支配するようになったのは、小出伊貞が寛文元年(1661)に池内・城連寺・芝・東我堂・西我堂の各村を支配するようになってからです。小出氏の系譜を遡ると、略系図のはじめにある秀政は豊臣秀吉に仕え、岸和田城 3 万石を領し、その後徳川に属しました。秀政の次男秀家が別家となり、四男三伊を養子とし、三伊の次男が伊貞になります。伊貞は別家を興し、この時松原地域との関係ができます。その後、伊重の時に堀・高木・清水・向井・高見・田井城の各村が、次の伊利の時に更池村がそれぞれ支配に入ります。しかし、二代後の銀次郎が早世し絶家となります。小出氏の所領は幕府領を経て高木氏や北条氏など大名領となっていきます。



※『新訂寛政重修諸家譜』第15「小出」項目及び『河内歴史大辞典』第5巻近畿編より作成。

## ◎小出氏と役人

小出氏がどのような形で松原地域の村落を支配していたのかは定かではありません。年貢免定などに記された役人は十数名が確認でき、それを表にしたものが「年貢免定からみた旗本小出氏役人」です。ここに記載した役人は、伊重・伊利時代の役人であり、それ以前の伊貞時代の役人については、現在何もわかっていません。伊重・伊利時代の役人をみると三輪弥惣兵衛や小林治左衛門は数多くの史料にその名が見られ、特に三輪弥惣兵衛については年貢や検地、訴訟、宗門戸口など様々なところにその名が見られ、このような状況から小出氏領では、数少ない役人で多くの事務処理を行っていたのではないかと考えられます。

### 年貢免定からみた旗本小出氏役人

領主名	役人名	出 典
伊重時代	細野又兵衛	城連寺村年貢免定(寛文11年[1671]-延宝元年~4年[1673~76])
	中村三右衛門	城連寺村年貢免定(延宝5年[1677])
伊重・伊利時代	三輪弥惣兵衛	城連寺村年貢免定(延宝5年~貞享4年[1677~1687])
	岡田十右衛門	城連寺村年貢免定(元禄元年~7年[1688~1694])
伊利時代	伊沢七郎右衛門	城連寺村年貢免定(元禄2年~7年[1689~1694])
	小出作右衛門	城連寺村年貢免定(元禄2年[1689])
	小出源左衛門	城連寺村年貢免定(元禄3年[1690])
	小林治左衛門	城連寺村年貢免定(元禄8年~15年[1695~1702]-宝永元年[1704])
	小林源左衛門	更池村年貢免定(享保3年~4年[1718-19])
	池内翁助	更池村年貢免定(享保4年[1719])
	小林伊九右衛門	更池村年貢免定(享保5年~9年・12年~14年・16年[1720~24・27~29・31])
	中西直左衛門	更池村年貢免定(享保12年~14年・16年[1727~29・31])
	矢本源四郎	更池村年貢免定(享保20年[1735])
	小林治左衛門	更池村年貢免定(享保20年[1735])

※小林治左衛門は元禄宝永期と享保期に出ていますが無難が限られて、同一人物か不明なため分けて記載しました。



#### ■戊午年城連寺村免定書

延宝6年(1678)11月18日

この文書は、城連寺村の小出氏領の年貢割付状です。差出人の三輪弥惣兵衛は延宝7年の大和川付け替え以前の城連寺村総領の宛名と同一人物です。

